



資料提供  
令和7年7月2日  
課名：平和推進プロジェクト・チーム  
担当者：山本  
内線：2365  
直通電話：082-513-2368

## JICA 国別研修コロンビア

### 「平和構築に資する包摂性を確保した農業農村開発事業強化プロジェクト」 横田副知事表敬訪問の実施について

#### 表敬概要

コロンビアでは、半世紀以上にわたり武力紛争が続き、多くの紛争被害者が発生しています。JICA（独立行政法人国際協力機構）では、紛争の主要な要因とされた都市部と地方農村部の経済格差の是正を目指し、地方農村部に対する開発支援のため、コロンビア・農村開発機構（ADR）という行政組織を設置し、対策を強化しています。今回日本の様々な事例を学ぶことで、住民と関係者間の信頼醸成を促進する形での地域開発や、脆弱層を含む包摂的な住民参加型の開発への理解を深めることなど、ADRの農村開発事業を通じた平和構築に貢献するもので、この日本研修の一環として横田副知事への表敬訪問を実施します。

- |   |     |   |
|---|-----|---|
| 1 | 日時  | 令和7年7月8日（火） 13:00～13:20   |
| 2 | 場所  | 県庁北館2階 第1会議室  |
| 3 | 訪問者 | コロンビア・農村開発機構（ADR）職員および関連機関職員 13名<br>JICA、とちち地域活性化支援機構等 同行者6名        |
| 4 | 次第  | 研修の背景紹介 JICA 佐々木氏<br>横田副知事歓迎の挨拶<br>訪問団代表挨拶<br>意見交換<br>記念品贈呈<br>記念撮影 |

※言語：日本語（日本語⇄スペイン語、逐次通訳あり）

#### コロンビア紛争の背景

都市部と地方部、都市内の経済的・社会的格差が紛争の構造的要因であり、コロンビア革命軍（Fuerzas Armadas Revolucionarias de Colombia: FARC）との和平合意においては、これらの格差を縮小することを目指し、総合農村改革に重点が置かれています。FARC以外にも武装勢力が存在し、格差は引き続き不安定化の要因なので、格差縮小がコロンビアの平和と安定・発展に欠かせません。

#### 日本の協力

日本は、紛争影響コミュニティに対して、地雷対策、地域開発、紛争被害者支援の協力等を組み合わせて、経済的・社会的に豊かで脆弱層を取りこぼさないコミュニティにしていくための協力を、コロンビア政府関係者や他援助機関等と有機的に連携しながら実施し、コロンビアの和平合意の履行と持続的な安定・発展を支援しています。

## 広島での主な日程

日程	内容
7/4(金)	広島着
7/5(土)	休日
7/6(日)	広島平和学習(平和記念資料館等)
	Pride of Hiroshima 展視察
7/7(月)	マツダミュージアム視察
	宮島観光
7/8(火)	ディスカッション
	横田副知事表敬
	広島の後復興と平和の取組
	広島発

※全研修期間：令和7年6月23日～7月10日（研修場所：北海道、広島、東京）